

施策分析シート（令和3年度）

No1

施策名	「読書のまちづくり」の推進	施策No	10-03	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課
				課長名	成瀬 内線 436
関連部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課				
行政評価	分野	V	文化創造都市		
事業体系	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成		

目的 図書館における蔵書の充実やレファレンス（読書支援）の更なる向上を図り、生涯学習やボランティア活動の拠点として地域に親しまれる図書館づくりを進めるとともに、様々な読書活動の促進により読書環境を整え、「読書のまちづくり」を推進していく。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		30年度	元年度	2年度			
①	子育て・教育環境の満足度	3.54	3.59	—	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか		
②	生涯学習環境の充実	3.06	3.07	—	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか		
③	地域の人との交流の充実	2.64	2.71	—	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると思いますか		
④	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	2.51	2.59	—	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか		
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	図書館入館者数（人）	1,642,968	1,608,475	921,278	1,296,000	1,800,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の入館者数の総計
②	個人登録者数（人）	91,743	78,506	75,885	80,000	130,000	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人登録者数の総計
③	区民一人当たり蔵書冊数（冊）	4.3	4.3	4.4	4.4	4.8	ゆいの森あらかわ及び各図書館の蔵書数÷住基人口
④	区民一人当たり総貸出点数（点）	9.7	9.2	7.5	9.4	10.0	ゆいの森あらかわ及び各図書館の個人総貸出点数÷住基人口
⑤	レファレンス件数（件）	4,561	5,748	1,914	3,000	8,520	ゆいの森あらかわ及び各図書館のレファレンス件数の総計

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目				
	元年度	2年度	差額			元年度	2年度	差額		
行政費用	給与関係費	158,100	148,093	▲ 10,007	地方税等	0	0	0		
	物件費	277,563	338,753	61,190	国庫支出金	0	0	0		
	維持補修費	7,547	46,053	38,506	都支支出金	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
	補助費等	2,395	1,280	▲ 1,115	使用料及び手数料	181	43	▲ 138		
	減価償却費	50,500	50,653	153	その他	2,023	1,664	▲ 359		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,204	1,707	▲ 497		
	賞与・退職給与引当金繰入額	53,545	21,278	▲ 32,267	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 567,598	▲ 629,694	▲ 62,096		
	その他行政費用	20,152	25,291	5,139	金融収支差額(d)	▲ 1,251	▲ 719	▲ 532		
	行政費用合計(b)	569,802	631,401	61,599	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 568,849	▲ 630,413	▲ 61,564		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	71	71			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	71	71	当期収支差額(e)+(h)	▲ 568,849	▲ 630,342	▲ 61,493			
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目				
	元年度	2年度	差額			元年度	2年度	差額		
	収入未済	0	0	0		流動負債	20,478	19,839	▲ 639	
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	17,000	17,000	0	
	有形固定資産	1,323,688	2,694,051	1,370,363		賞与引当金	3,478	2,839	▲ 639	
	土地	293,907	213,207	▲ 80,700		その他の流動負債	0	0	0	
	建物	2,160,243	3,535,087	1,374,844		固定負債	561,556	1,109,631	548,075	
	建物減価償却累計額	▲ 1,130,462	▲ 1,082,257	48,205		特別区債	519,000	1,079,000	560,000	
	工作物等	94,477	122,111	27,634		退職給与引当金	42,556	30,631	▲ 11,925	
工作物等減価償却累計額	▲ 94,477	▲ 94,097	380	その他の固定負債	0	0	0			
無形固定資産	0	177	177	負債の部合計	582,034	1,129,470	547,436			
建設仮勘定	805,333	0	▲ 805,333	正味財産	1,575,006	1,597,408	22,402			
その他の固定資産	28,019	32,650	4,631	正味財産の部合計	1,575,006	1,597,408	22,402			
資産の部合計	2,157,040	2,726,878	569,838	負債及び正味財産の部合計	2,157,040	2,726,878	569,838			

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用のうち、令和2年度の物件費の内訳は地域図書館課215,392千円、ゆいの森課123,361千円となっている。前年度に比べ物件費が増加しているのは、新尾久図書館整備事業に係る費用が増加したためである。前年度に比べ維持補修費が増加しているのは、南千住図書館における空調機自動制御機器更新に係る費用42,020千円があったためである。その他の行政費用は新尾久図書館外構工事のうち、植樹等に係る工事請負費である。

○行政収入のうち、使用料及び手数料は自動販売機の行政財産使用料43千円、その他の行政収入の主な内訳は汐入図書サービスステーション物件の社会福祉協議会負担分1,281千円、光熱水費受入160千円である。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○令和元年度の荒川区政世論調査では、図書館を利用しない割合は51.3%と半数を超えている。</p> <p>○各図書館ではそれぞれ分野を定めて専門資料を収集し、特色ある蔵書整備を進めている。</p> <p>○図書館の利用者登録率（令和3年4月1日現在）は、小学生（7～12歳）69%、中学生（13～15歳）63%であり、20歳以上は23%となっている。</p> <p>○平成30年5月には「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言を行い、区のこれまでの取組やその精神を未来につなげ、読書を楽しむまちを展開するために「あらかわ街なか図書館」の開設等の取組を推進している。</p> <p>○全ての子どもたちがいつでもどこでも読書を楽しむことができるように、また、「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言の策定や読書バリアフリー法が公布、施行されたことも踏まえて令和3年4月に『荒川区子ども読書活動推進計画』（平成18年4月策定）の第四次計画を策定した。</p>
課題	<p>○より多くの区民が図書館を利用できるよう、本を借り読書を楽しむ空間としてだけでなく、地域コミュニティの拠点としてグループ学習や地域活動も行うことができる図書館づくりを進める必要がある。</p> <p>○各図書館における特色あるサービスを展開し、より多くの区民に愛される図書館づくりを進める必要がある。</p> <p>○図書館の利用者登録率は、中学生以降が低い傾向にあるため、大人を含めた読書推進活動を更に推進し、生涯を通じて利用できる図書館としてつなげていく必要がある。</p> <p>○荒川区全体が「読書を楽しむまち」となるよう、身近で本に親しむことができる環境整備として開設した「あらかわ街なか図書館」を推進し、区内公共施設や民間事業者等と連携した読書環境を整備する必要がある。</p> <p>○子どもの読書活動を推進するため、家庭や地域で本や読書の話をする事の大切さについて働きかけていく必要がある。</p> <p>○障がいのある方や、読書が困難なすべての方に対する読書環境を整備していく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○生涯学習や地域活動の拠点として、区民に愛される図書館づくりを進め、新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、乳幼児から高齢者まで、様々な世代が利用できる滞在型図書館の実現を目指していく。新たに開館した尾久図書館は、あらゆる世代が学ぶ、集う、楽しむことのできる場や機会を提供し、地域活性化の拠点としての役割を担えるよう多彩な事業を展開していく。</p> <p>○『荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方』にもとづき、地域の特性や利用者のニーズを踏まえながら図書館のあり方を検討し、区民の知的好奇心を満たす魅力ある書架構成を行うなど、地域に根ざした図書館づくりを進めていく。</p> <p>○学校・幼稚園・保育園等と連携を更に促進するとともに、おはなし会やおたのしみ会など図書館事業の充実を図り、子どもたちの読書習慣を育てていく。</p> <p>○「読書を楽しむまち」をさらに展開し区内外へのPRに努めるとともに、読書活動推進事業や街なか図書館等の読書環境の整備を図っていく。</p> <p>○家庭における読書活動促進に向けた家読の推進や、障がいのある方への読書支援の充実等、新たな取組を進めていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
3年度	4年度	
重点的に推進	重点的に推進	<p>図書館は、区民の生涯学習活動、区の情報発信の拠点として最も身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度は高い。</p>

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		元年度	2年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
中央図書館運営費	05-04-04	220,500	232,471	132,219	138,218	重点的に推進	重点的に推進	「読書を愛するまち・あらかわ」の実現に向け、図書館サービスについて周知し、活用してもらう必要があるため、重点的に推進する。
地域図書館施設の管理	05-05-01	149,624	139,025	69,142	74,388	継続	継続	地域図書館の維持管理及び運営にかかる事業であり、効率的に管理するため継続して実施する。
特色ある地域図書館の推進	05-05-02	119,199	86,754	60,297	59,755	重点的に推進	重点的に推進	地域に根ざした、地域の特性を生かした地域図書館としての取組みを発展させ、魅力ある図書館とするため、重点的に推進する。
図書館施設の改修	05-05-03	24,037	56,507	9,825	46,053	推進	推進	区の長期改修及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ魅力ある図書館を実現するため推進とする。
新尾久図書館の整備	05-05-04	56,442	116,643	233,852	807,659	休止・完了	休止・完了	尾久図書館は、地域のシンボリックな建物となるよう宮前公園内に令和2年度中に整備を完了し、令和3年2月20日に開館した。開館日は2,500人を超える来場者が訪れ、大盛況となった。
合 計		569,802	631,400	505,335	1,126,073			